

胃切除術経過表 1



目標	入院から手術前まで（手術準備期） 手術に必要な検査・処置が終了している 手術・麻酔について理解できている 手術後の経過が理解できている 術後の生活状況（離床プラン・清潔方法・排泄方法・絶食期間・輸液など）		
経過	手術前日（ / ）までに	手術前日（ / ）	手術当日術前（ / ）
	<p>外来で実施されていない 検査などがあれば実施します</p> <p>呼吸訓練をして下さい 適度な運動をして下さい 気分転換をして下さい</p> <p>手術同意書 輸血の同意書 病衣貸与申込書 記入して看護師に渡して下さい</p> <p>腹帯3枚・T字帯1枚 バスタオル2枚を用意して下さい</p>	<p>除毛とお臍のお掃除をします その後にシャワー浴をして下さい 爪切りもして下さい</p> <p>夕方、麻酔科の先生から 説明があります</p> <p>夕食まで常食です 薬剤師による薬チェックと説明があります 21時頃に 下剤と軽い眠剤を飲みます 午前手術の方は午後22 時まで、午後手術の方は 午前4時まで飲水が 可能です</p>	<p>朝起きたら、洗面・歯磨きを 済ませて、お待ちください 朝7時頃、浣腸をします</p> <p>9時ごろ手術着に着替えます そのあと、点滴をはじめます 手術直前に 抗生物質の点滴と</p> <p>9時から手術の方は、手術室で 点滴をします</p> <p>手術は約4～5時間です ご家族の方は2階の 待合コーナーでお待ち下さい 手術後先生から説明があります</p>
不安や疑問を書いてください			
<p>【状態に応じ予定と異なることがあります。ご質問があればお尋ね下さい。】</p> <p style="display: flex; justify-content: space-between;"> 医仁会武田総合病院 3L病棟担当医師 看護師 </p>			

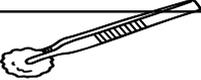
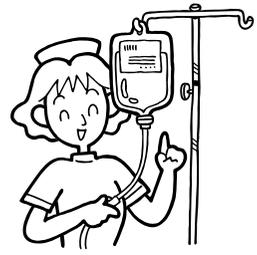


胃切除術経過表 2



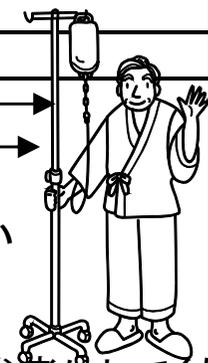
手術直後から1日目まで(術後急性期)	
目標	創部・ドレーンからの出血が少量である 胃チューブが翌朝抜去できる 血圧・脈拍・体温・呼吸が安定している 疼痛コントロールできる 尿量が確保できる
経過	手術当日(/)
	1日目(/)
<p>呼びかけると、わかりますが まだ、はっきりしない状態で病棟に戻ってきます お部屋はナースステーション横の300号室になります</p> <p>医師・看護師による観察があります</p> <p>酸素吸入をします →</p> <p>尿管による排尿です →</p> <p>鼻から胃に管が入っています →</p> <p>お腹にも管が入っています →</p> <p>手から点滴の管が入っています(24時間点滴です)</p> <p>背中に細い管が入り、そこから持続的に痛み止めを注入しています。</p> <p>2時間ごとに 身体の向きを変えたり、ベッドを少し上げたりします</p> <p>喉が渇いたり、口が乾燥すれば、うがいをします</p>	<p>朝7時ごろ 採血があります</p> <p>朝、ベットを上げて洗面をします 10時ごろベッド上でレントゲン撮影があります</p> <p>朝8時ごろで中止です →</p> <p>胃管は朝に抜けます →</p> <p>必要に応じて創部のガーゼ交換をします 10時・18時頃に、痰を出しやすくする吸入をします →</p> <p>朝・夕に抗生剤の点滴があります</p> <p>昼間に身体を拭いて、パジャマに着替えます</p> <p>準備ができれば、車椅子で一般部屋へ戻ります</p> <p>朝・晩の歯みがき、口が渇いたらうがいを 習慣付けて下さい 咳の方法・起きあがり方法を覚えてください 痛み止めを上手に使って、活動を増やして下さい</p>
	痛みや気分不快は我慢せずに、必ず申し出てください

胃切除術経過表 3

	2日目(/)から水分開始まで	
目標	血圧・脈拍・体温・呼吸が安定している 感染徴候がない 疼痛コントロールできる	排ガスがある 水分摂取が開始できる 歩行ができる
経過		
	医師・看護婦による観察があります 朝7時尿管を抜きます お腹にも管が入っています 必要に応じてガーゼ交換をします 	朝7時ごろ 採血があります(3・5・7日目)
	手・首から点滴の管が入っています(24時間点滴です) 背中痛み止め注入中 → 2・3日目に管を抜きます 10時・18時頃に、 痰を出しやすくする吸入をします 洗面・トイレ歩行を始めて下さい 朝・晩の歯みがき、口が渴いたらうがいを習慣付けてください 咳の方法・起き上がり方法を覚えてください 体を拭いたり、髪の毛を洗うお手伝いをします 痛み止めを上手に使って、活動を増やして下さい	その後はシャワーもできます 3～7日目頃に 医師の指示で、水分・飴玉の許可が得ます パンフレットの説明(水分摂取)をします 栄養士が食事の説明に伺います <div style="text-align: center;">  </div> 本日の摂取量

胃切除術経過表 4

	食事開始初期									
目標	血圧・脈拍・体温・呼吸が安定している 感染徴候がない 疼痛コントロールができる					食事が開始できる 食事の摂取方法がわかる 排ガス・排便がある				
経過	医師・看護婦による観察があります 手から点滴の管が入っています(24時間点滴です) 朝7時頃採血があります(3・5・7日目) 食事は胃切流動食から開始です 順次3分粥食・5分粥食…と 上がっていきます 食事の上がり方や点滴の量は、体調に応じて異なります。パンフレットを参考にしてください 食事記入シートを活用して、食事量や症状をお知らせ下さい GFOとはグルタミン、ファイバー、オリゴ糖を含有する粉末清涼飲料です 腸に三つの栄養素。さわやかレモン風味です 摂取量は全体の何割ですか？ 時間はどれくらいですか？ ▲ 症状はないですか？									
	(/)					(/)				
	朝	10時	昼	15時	夕	朝	10時	昼	15時	夕
摂取量										
時間										
症状										



どんどん活動を
増やして下さい

胃切除術経過表 5

	食事開始中期									
目標	血圧・脈拍・体温・呼吸が安定している 感染徴候がない 抜糸・抜鉤ができる					ドレーンが抜去できる 食事が摂取できる 食事の摂取方法がわかる				
経過										
	医師・看護婦による観察があります 昼間だけの点滴になります									
	体調により、食事の上がり方や点滴の量は異なります パンフレットを参考にして下さい 摂取量は全体の何割ですか？ 時間はどれくらいですか？ 症状はないですか？									
	(/)					(/)				
	朝	10時	昼	15時	夕	朝	10時	昼	15時	夕
摂取量										
時間										
症状										

胃切除術経過表 6

入院費概算 約38万

	退院準備期									
目標	食事が5～7割摂取できる 排便コントロールができる 創部に問題がない 退院後の生活について理解できる(パンフレットの理解)									
経過										
	医師・看護婦による観察があります —————▶ 点滴はありません 食事の食べ方を マスターしていきましょう 体調により、食事の上がり方や点滴の量は異なります パンフレットを参考に活動を増やしてください 外出・泊をして、体調を整えてください 摂取量は全体の何割ですか？ 時間はどれくらいですか？ 症状はないですか？									
	(/)					(/)				
	朝	10時	昼	15時	夕	朝	10時	昼	15時	夕
摂取量										
時間										
症状										



栄養士から退院時の栄養指導があります

外出・外泊をして心身ともに退院の準備をして下さい

不安や疑問がないか確認してください



(/)						(/)					
	朝	10時	昼	15時	夕	朝	10時	昼	15時	夕	
摂取量											
時間											
症状											
(/)						(/)					
	朝	10時	昼	15時	夕	朝	10時	昼	15時	夕	
摂取量											
時間											
症状											
(/)						(/)					
	朝	10時	昼	15時	夕	朝	10時	昼	15時	夕	
摂取量											
時間											
症状											